

事務事業チェックシート

事務事業No 265 事業名 西庄ふれあいの郷維持管理委託事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	1	高齢者の生活の充実
基本方針	2	高齢者の社会参加と生きがいの推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		ふれあいの郷事業費	
	大事業		ふれあいの郷管理事業	
	事項		西庄ふれあいの郷維持管理委託事業	

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	高齢者・地域福祉課	佐々木 忍	435-1063
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどのような状態にする」ための事業か）	事業内容				
	総合的な高齢者施策を推進するため、本市の河西地区の自然を生かし、高齢者のみならず若年層にも利用できる施設を目指し、市民のいきがいの新たな趣味の創出、健康増進など、市民生活の向上に寄与する。	ハーブ園、ゲートゴルフ場、多目的広場が開園しており、高齢者を含め全ての市民を対象に開放している。 また、毎年ハーブの花摘み体験や挿し木体験、ゲートゴルフ大会など開催している。 なお、管理については平成18年度より、指定管理者制度を導入している。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		西庄ふれあいの郷を適正に維持管理する。	西庄ふれあいの郷を適正に維持管理する。	西庄ふれあいの郷を適正に維持管理する。	西庄ふれあいの郷を適正に維持管理する。	西庄ふれあいの郷を適正に維持管理する。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	16,194	14,375	16,489	15,064	17,328		17,328		16,489	
伸び率 (%)	-	-	1.8%		5.1%		0.0%		-4.8%	
人件費	常勤職員	1,346	1,307	1,302	1,306	1,306		1,306		1,302
	非常勤職員	0	0							
	小計	1,346	1,307	1,302	1,306	1,306		1,306		1,302
国庫支出金	0	0								
県支出金	0	0								
市債	0	0								
その他	2,063	2,126	2,245	2,206	2,180		2,245		2,245	
一般財源(税等)	14,131	12,249	14,244	12,858	15,148		14,244		14,244	
所要人数	常勤職員	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17		0.17		0.17
	非常勤職員	0.00	0.00							
主な予算内訳	委託料 16,346千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	休園日(火曜日(祝日にあたる場合は、その日に近い休日でない日)及び12月29日～1月3日)を除く開園日数	年度目標値			308	307	309	308	308	
		実績値			308	307				
	単位	日	全体目標値		全体目標達成度	100.0%	100.0%			
	イベント開催数	年度目標値			12	12	12	12	12	
		実績値			12	12				
	単位	回	全体目標値	12	全体目標達成度	100.0%	100.0%			
成果指標	入園者数	年度目標値			38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	
		実績値			32,898	28,845				
	単位	人	全体目標値	38,000	全体目標達成度	87.0%	75.9%			
		年度目標値								
		実績値								
	単位		全体目標値		全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	施設の適正な指定管理を行い、市民の利用に供している。
「見直し」 「改善」案	